

## 2025 年度第 4 回社会・環境部会運営小委員会議事メモ（案）

2026 年 2 月 20 日  
社会・環境部会 事務局長  
山本 隆一

1. 開催日時  
2026 年 2 月 20 日（金）13：30～15：20
2. 開催場所  
Zoom によるリモート会議
3. 出席者  
佐田副部長、寿楽委員、布目委員、小林委員、木藤委員、竹田委員、  
桑垣委員、龍原委員、高木委員、篠田委員、山本事務局長
4. 配付資料  
25-4-0 議事次第  
25-4-1 2025 年度第 3 回社会・環境部会運営小委員会議事メモ案 r2  
25-4-2 表彰委員会での検討結果  
25-4-3 2026 年春の年会全体会議 議事次第（案）  
25-4-4 春の年会専門委企画セッション  
25-4-5 2025-3 部会等運営委員会議事録案 20260123 村上毅様 R2  
25-4-6 2025 予算  
25-4-7 マスメディアとの関係構築  
25-4-8 ポジション・ステートメント WG の状況について  
25-4-9 社会・環境部会ホームページの入会ページの更新について  
25-4-10-1 2026 年度運営小委員会委員一覧  
25-4-10-2 2026 年度運営体制表  
25-4-11 中電データ不正関連の学会声明や見解
5. 議事概要  
部長欠席のため、代わりに佐田副部長が挨拶を行った後、議事次第に沿って議事が進められた。
  - (1) 前回議事メモ確認  
山本より資料 25-4-1 に沿って前回の議事について紹介し、議事概要について確認された。念のため一週間程度コメント期間を設けたうえで最終

版とすることとなった。

(2) 部会表彰について

佐田表彰委員長より資料 25-4-2 に沿って表彰委員会による審議の経過が説明され、結論として優秀発表賞 1 件、優秀活動賞 1 件、奨励賞 1 件を推薦することとなった。また、いずれの表彰候補者からも内諾は得ているとのこと。

審議の結果、表彰委員会の審議結果通り、優秀発表賞 1 件、優秀活動賞 1 件、奨励賞 1 件の計 3 件の表彰について了承された。

表彰状の作成等については、昨年同様学会事務局に依頼し、作成する表彰状を、別途調達する表彰状ホルダーに収納した上で、受賞者に郵送する旨紹介された。

全体会議の後で執り行う表彰式においては、当日参加可能な 2 件の対象者に直接手渡す他、参加できない対象者にはホルダーに収めた表彰状を郵送するとの説明があった。また、表彰状ホルダーの購入・郵送等に要する費用を表彰関係費用として支出する旨が紹介され、承認された。

(3) 2024 年春の年会への準備について

山本より資料 25-4-3 に沿って春の大会における全体会議について紹介した。なお、使用する資料については本日の運営小委員会資料と同様のものとし、3 月 5 日までに佐田副部長宛（CC 山本事務局長）に提出することとなった。

また、全体会議後に同会場で開催される研究専門委員会の企画セッションについて資料 25-4-3 に沿って佐田副部長より紹介があり、当日の段取りについて意見交換があった。

(4) 定例報告等(審議事項を含む)

① 部会等運営委員会の状況について

木藤委員より資料 25-4-5 に沿って 1 月 2 日に開催された部会等運営委員会について紹介があった。その中で、今後の年会／大会の開催方法について議論があり、部会／連絡会が開催主体となる件については、どこも前向きな回答はなく、一方で支部からは一定の予算配分が必要ではあるものの年会／大会余剰金からの配分までは不要ではあるが、数年に一度程度イベントを行う際、予算要求できるような仕組みが欲しい、との回答があったとのこと。これについて財務担当理事から、一定の本部配分金を超える予算申請は、その妥当性を総務財務委員会での審議／了解を条件に予算化可能という方向で進める他、また別の議論で出された、支部で繰越

金を持ちたい、との意見については今後の検討事項となった、とのこと。

② 2025 年度予算執行状況等について

高木委員より資料 25-4-6 に沿って以下 2 点を報告し、了承された。

- ・秋の大会のダイバーシティ推進委員会ポスターセッション用ポスター印刷費や企画セッション講師旅費について予算外申請を行っていたが、その大半はマスメディア交流会の予算の残金で賄え、2,106 円のみが繰越金から充てられた。
- ・今年度内の残りの活動である部会表彰と部会 HP 改修の費用を 2025 年度の予算から執行するにあたり、配分金の残金から 8,450 円不足する見込みとなった。これを繰越金で補填する手続きについて学会事務局に確認したところ、予算外支出の申請に関する規約の第 3 条（決裁）※に則り、部会長の承認を得ればよいとのことなので、別途部会長に承認を得ることとする。

※「10,000 円未満の予算外支出については、当初予算にはなかった事業を除き、予算執行組織長の承認をもって省略することができる」

③ マスメディアとの関係構築について

布目委員より 25-4-7 に沿って説明があった。本年 1 月 9 日に、ちよだプラットフォームスクウェア 5F 会議室 402 にてマスメディアとの交流会を開催した。「SMR の動向（世界的な流れと日本における今後の進展など）」と題してエネルギー総合工学研究所の都筑和泰部長に講演をお願いした。参加報道機関は 10 社 12 名であり、活発な質疑が行われ、盛会であったとの報告があった。

次年度は来年 1 月 8 日(金) 14:00～15:30 の予定で、会場は同じ場所で、費用も同程度とのこと、開催予定について了承された。

④ PS について

山本より 25-4-8 に沿って状況を紹介した。その中で、PS003（高レベル放射性廃棄物の地層処分）については、この仕組みを設けてから初めて学会誌の巻頭言において取り上げられ、紹介された（前規制委員会委員の田中知氏が執筆）ことを紹介した。また、引き続きクリアランスに関わる PS011 の審議を進めており、間もなく学会員パブコメを始める旨報告した。

⑤ 部会 HP について

木藤委員より、25-4-9 に沿って部会 HP に設けた当部会への入会促進ページについて紹介があった。

(5) その他

① 運営小委員会の構成と役割分担について

山本より、資料 25-4-10-1 及び資料 25-4-10-2 に沿って次年度の運営小委員会の構成と役割分担について説明した。その中で、風間委員が2月1日付で異動により退任し、代わりに石橋委員が参加することとなったことを報告し、承認を得た。また、今年度末で任期切れとなる委員（佐田副部長、高木委員、諸葛委員、寿楽委員、木藤委員、吉永委員、竜原委員、篠田委員）には引き続き就任していただけるようお願いした。なお、何人かの委員からは既に了解する旨の回答を頂いているが、未回答の委員におかれても全体会議までには回答いただきたい旨をお願いした。なお、前記の風間委員の任期も今年度末なので、後任の石橋委員の任期は2027年度末までお願いする旨説明した。

また、各委員の役割分担については風間委員の代わりに石橋委員が入ることと、高木委員を新たに表彰小委に参加いただくこと以外は、当面現状維持とする旨をお願いし、前記も含めて了承された。

② 中電データ不正事案に関する学会内組織の声明や見解について

佐田副部長より資料 25-4-11 に沿って、1月5日に中部電力株式会社から公表された「浜岡原子力発電所の新規規制基準適合性審査における基準地震動策定に係る不適切事案について」に対し、当会からはまず1月20日に理事会からの声明が発出され、また同日付で倫理委員会からも同様な声明が出されている。

以上のような動きに照らして、当部会はどうするかについて意見交換し、現状では情報が限られることから、3月末に予定されている中部電力の規制委員会への報告書などにより、本件の概要や原因が公表されてから改めて議論することとなった。

以上